

9 畜産技術室の事業概要

(事業名) 肉用牛繁殖経営支援事業

(継続 実施期間：平成23年～27年)

本年度予算額 (前年度予算額)	左の財源内訳			事業主管課・室 (担当)	地方機関
	国庫	一般	その他		
千円 26,880 (31,164)	千円	千円 26,880	千円	畜産技術室 (食肉鶏卵班)	振興局 (生産流通部)

事業の趣旨

繁殖農家による高能力な若雌牛の導入を支援することで、県内繁殖雌牛群の若返りと繁殖農家の規模拡大を図るとともに、オレイン酸生成能力が優れた繁殖雌牛の導入を支援することで、その割合を高め、マーケット評価の高い素牛を安定供給できる体制を整備する。

事業の内容

事業区分	予算額	事業の内容	予定地区等
繁殖雌牛増頭対策	千円 6,300	オレイン酸生成能力及び産肉能力に優れる繁殖雌牛の導入により、生産規模の拡大に取り組む肉用牛繁殖農家を支援する。	県内全域
繁殖雌牛世代交代促進対策	19,500	子牛の評価が低い高齢な繁殖雌牛を更新し、高能力な若雌牛を導入する肉用牛繁殖農家を支援する。	県内全域
農家のオレイン酸等の認識を高めるための研修会	363	新しい指標（オレイン酸生成能力）に着目した肉用牛育種改良技術の普及のため、県下全域の肉用牛繁殖農家を対象とした研修会を開催する。	県内全域
県推進費	717		

補助等の条件

事業区分	事業主体	採択基準（又は条件）	補助率
繁殖雌牛増頭対策	市町村等	黒毛和種繁殖雌牛を概ね10頭以上飼養し、オレイン酸生成能力と産肉能力に優れる繁殖雌牛を導入することで、増頭対策に取り組む農業者等。	県2/3 上限42,000円
繁殖雌牛世代交代促進対策	市町村等	黒毛和種繁殖雌牛を概ね10頭以上飼養し、事業年度内に高齢牛の出荷と優秀な若雌牛の導入により、繁殖雌牛の若返りに取り組む農業者等。	県2/3又は10/10 上限75,000円

県の補助金等交付要綱、実施要綱・要領等

事業区分	補助金等交付要綱、実施要綱・要領等
肉用牛繁殖経営支援事業	大分県畜産生産振興対策事業費補助金交付要綱、同実施要領 肉用牛繁殖経営支援事業実施細則

(事業名) 肉用牛生産効率化施設整備事業

(継続 実施期間：平成23年～25年)

本年度予算額 (前年度予算額)	左の財源内訳			事業主管課・室 (担当)	地方機関
	国庫	一般	その他		
千円 55,486 (66,571)	千円	千円 55,486	千円	畜産技術室 (食肉鶏卵班)	振興局 (生産流通部)

事業の趣旨

本県の肉用牛は、経営の規模拡大が着実に進んでいるものの、長引く景気低迷による牛肉需要の減退から卸売価格は長期下落傾向にあり、東日本大震災やT P P交渉参加など今後さらに厳しい状況が考えられることから、肉用牛経営の安定化を図るため、飼養規模拡大や省力的で高品質な肉用牛生産を行うための施設整備に対して助成する。

事業の内容

事業区分	予算額 千円	事業の内容	予定地区等
規模拡大のための施設整備支援	51,660	豊後牛増頭3ヶ年計画に基づき、より効率的で省力的な経営を目指し生産規模を拡大する農家の施設整備及び機械整備に対し助成する。	県内全域
省力的生産体系整備支援	2,933	<ul style="list-style-type: none"> 規模拡大のための施設整備 畜舎、堆肥舎等 省力的生産体系整備支援 分娩監視・発情発見システム、ミルメーカー 分娩監視カメラ、哺乳ロボット 家畜伝染病防疫施設設備 アーチ式車両消毒装置、動力噴霧装置 	
家畜伝染病防疫施設整備支援	667		
県推進費	226		

補助等の条件

事業区分	事業主体	採択基準(又は条件)	補助率
規模拡大のための施設整備支援	市町村等	<ul style="list-style-type: none"> 肉用牛増頭3ヶ年計画を有する農業者等 年齢65歳以上の農業者は、後継者を有すること 	県 1/3以内
省力的生産体系整備支援			市町村 1/6以上
家畜伝染病防疫施設整備支援			

県の補助金等交付要綱、実施要綱・要領等

事業区分	補助金等交付要綱、実施要綱・要領等
規模拡大のための施設整備支援 省力的生産体系整備支援 家畜伝染病防疫施設整備支援	大分県畜産生産振興対策事業費補助金交付要綱、同実施要領

(事業名) 県産和牛品質向上対策事業

(新規 実施期間：平成25年～26年)

本年度予算額 (前年度予算額)	左の財源内訳			事業主管課・室 (担当)	地方機関
	国庫	一般	その他		
千円 14,451	千円	千円 14,451	千円	畜産技術室 (食肉鶏卵班)	振興局 (生産流通部)

事業の趣旨

県産和牛の市場評価を高めるため、超音波画像診断等を用いた県外市場出荷牛の選抜や、オレイン酸含有率を高める飼料添加剤の給与を支援するとともに、市場ニーズに適う枝肉の品質向上を図るため、飼養管理技術指導を強化する。

事業の内容

事業区分	予算額	事業の内容	予定地区等
技術指導の強化	千円 2,720	県外出荷のための選抜、おいしさの向上やニーズに適う枝肉生産のための技術指導を強化する。	県内全域
美味しさ向上対策	9,000	肥育農家が脂肪の質（オレイン酸含有率）を向上させるために、新しい飼料添加剤等の活用を支援する。	
肉用牛経営安定化対策	2,097	県、肉用牛関係団体及び生産者組織で構成するおおい肉用牛振興協議会を通じ、飼養管理技術の向上と経営感覚を備えた大規模経営体を育成するための研修会を開催し、肉用牛農家の経営安定を支援する。	

補助等の条件

事業区分	事業主体	採択基準（又は条件）	補助率
美味しさ向上対策	市町村又は農協	黒毛和種の肥育牛を飼養し、出荷前の3ヶ月間飼料添加剤等を給与することで脂肪の質向上に取り組む農家等	県 1/2
肉用牛経営安定化推進事業	おおい肉用牛振興協議会	おおい肉用牛振興協議会の活動に対する補助	県 1/2 団体 1/2

県の補助金等交付要綱、実施要綱・要領等

事業区分	補助金等交付要綱、実施要綱・要領等
美味しさ向上対策	大分県畜産生産振興対策事業費補助金交付要綱、同実施要領
肉用牛経営安定化推進事業	大分県畜産生産振興対策事業費補助金交付要綱、同実施要領

(事業名) スーパー豊後牛作出対策事業

(継続 実施期間：平成13年～25年)

本年度予算額 (前年度予算額)	左の財源内訳			事業主管課・室 (担当)	地方機関
	国庫	一般	その他		
千円 39,363 (41,454)	千円	千円 26,688	千円 12,675	畜産技術室 (食肉鶏卵班)	農林水産研究 指導センター (畜産研究部)

事業の趣旨

産肉能力の優秀な豊後牛（スーパー豊後牛）を効率的に作出するため、受精卵移植技術や遺伝子解析等の新技術を活用し、産肉能力の早期判定法を開発することにより、種雄牛の選抜精度を高め、改良のスピードアップを図る。

事業の内容

事業区分	予算額	事業の内容	予定地区等
肉用牛育種改良推進事業	千円		県内全域
1) 優秀種雄牛造成対策事業	13,086	候補種雄牛の購入と選抜のための直接検定及び現場後代検定を実施する。	
2) 繁殖雌牛群整備事業	1,957	育種価評価による農家指導を行い、県全体の繁殖雌牛群のレベルアップを図るとともに、育種素材牛等の調査を実施し、種雄牛造成の基礎となる高能力雌牛群の整備を図る。	
畜産新技術実用化対策事業			県内全域
1) 受精卵移植技術高度化事業	6,745	受精卵移植技術を活用した種雄牛造成に取り組むとともに、受精卵供給体制の強化を図るため、農家の高能力牛を用いた受精卵採取を実施する。	
2) 受精卵性判別技術利用促進事業	749	PCR法を利用し、受精卵の雌雄判別を行うとともに、性判別後の凍結保存技術を確立する。	
肉用牛育種改良推進事業委託事業	16,826	肉用牛の育種改良を生産者組織や関係機関が一体となって取り組むことで効率的に推進する。	

補助等の条件

事業区分	事業主体	採択基準（又は条件）	補助率
肉用牛育種改良推進事業委託事業	大分県肉用牛改良組合連合会	優秀種雄牛造成対策事業のうち種雄牛造成のための指定交配の推進、候補種雄牛選抜のための現場後代検定の推進及び技術研修会の開催、受精卵移植技術高度化事業のうち現場採卵の推進を委託する。	

(事業名) 豊後牛肥育拡大支援事業

(継続 実施期間：平成24年～25年)

本年度予算額 (前年度予算額)	左の財源内訳			事業主管課・室 (担当)	地方機関
	国庫	一般	その他		
千円 47,409 (41,694)	千円	千円 47,409	千円	畜産技術室 (食肉鶏卵班)	振興局 (生産流通部)

事業の趣旨

畜産環境問題や莫大な初期投資等から、新規の施設整備や参入による豊後牛の増頭・規模拡大が困難となる中、社会情勢の変化等による経営の悪化や高齢化の進展に伴い廃業・経営中止を余儀なくされ遊休化する肉用牛肥育施設が増加している。そこで、これらの空き牛舎等を活用するなどして肥育牛を増頭する農業者等を緊急的に支援し、肉用牛飼養頭数の減少を抑え豊後牛の増頭を図る。

事業の内容

事業区分	予算額	事業の内容	予定地区等
豊後牛肥育拡大支援	千円 46,665	豊後牛増頭計画を作成し、豊後牛の増頭と規模拡大を図る農業者や企業的経営体等に対し、当該年の増頭実績分の導入にかかる経費の一部を助成する。	県内全域
県推進費	744		

補助等の条件

事業区分	事業主体	採択基準 (又は条件)	補助率
豊後牛肥育拡大支援	市町村、農協等	<ul style="list-style-type: none"> 県内の子牛市場において、豊後牛の増頭を目的に黒毛和種肥育素牛を導入する農業者等。 事業実施に際して豊後牛増頭計画を作成し、2年間継続して事業参加すること。 事業年度ごとに、当該年の期末頭数が期首頭数より増加していること。 前年度の施設整備事業により畜舎整備を実施した場合は、当該施設の収容頭数(計画頭数)相当分は助成対象から除外する。 	10/10以内 1頭あたり 45,000円

県の補助交付要綱、実施要綱・要領等

事業区分	補助金交付要綱、実施要綱・要領等
豊後牛肥育拡大支援	大分県畜産生産振興対策事業費補助金交付要綱、同実施要領 豊後牛肥育拡大支援事業実施細則

(事業名) 緊急雇用牛乳消費拡大対策事業

(継続 実施期間：平成21年～25年)

本年度予算額 (前年度予算額)	左の財源内訳			事業主管課・室 (担当)	地方機関
	国庫	一般	その他		
千円 33,290 (33,290)	千円	千円	千円 33,290	畜産技術室 (酪農・飼料班)	

事業の趣旨

近年の牛乳消費量の減少に歯止めをかけるため、牛乳の持つ食品としての栄養価に着目し、子供を持つ保護者の食に対する意識の改善を図るとともに、「総合栄養食品」としての牛乳・乳製品の特性を広く県民に伝えることで、牛乳の消費拡大及び県民の健康増進を図る。

緊急雇用牛乳消費拡大推進事業に当たっては、大分県牛乳普及推進協議会に委託を行う。

事業の内容

事業区分	予算額	事業の内容	予定地区等
緊急雇用牛乳消費拡大対策事業 (委託料)	千円 33,290	牛乳相談指導員による教師、保護者等への講習会及び食育活動や牛乳販売促進員による消費者に対する牛乳の効用の啓発・販売活動を委託する。	県内全域

県の補助金等交付要綱、実施要綱・要領等

事業区分	補助金交付要綱、実施要綱・要領等
緊急雇用牛乳消費拡大対策事業	緊急雇用牛乳消費拡大対策事業委託契約書

(事業名) 次代を担う酪農経営基盤強化対策事業

(継続 実施期間：平成23年～27年)

本年度予算額 (前年度予算額)	左の財源内訳			事業主管課・室 (担当)	地方機関
	国庫	一般	その他		
千円 103,498 (109,510)	千円	千円 1,042	千円 102,456	畜産技術室 (酪農・飼料班)	

事業の趣旨

優良雌牛の導入や酪農家の経営管理研修等を開催することで、効率的な乳用牛の改良や経営者の資質向上を図り、生産性の高い持続可能な酪農経営体を育成する。

事業の内容

事業区分	予算額 千円	事業の内容	予定地区等
乳用優良雌牛貸付事業	102,456	乳用雌牛の貸付により中核農家を育成する。	県内全域
酪農経営担い手育成対策事業	250	酪農家の飼養管理や経営管理に係る知識・技術の習得並びに指導者の指導力向上を図るため、研修会を開催する。	県内全域
県推進費	792		

補助等の条件

事業区分	事業主体	採択基準(又は条件)	補助率
乳用優良雌牛貸付事業	大分県酪	借受者は県酪の組合員とし、飼料基盤を有し酪農経験が概ね5年以上であり、牛群改良に意欲的で、概ね30頭以上飼養している者 借受者に対する貸付頭数は4頭以内	県 2/3以内
酪農経営担い手育成対策事業	大分県酪		県 1/2以内

県の補助金等交付要綱、実施要綱・要領等

事業区分	補助金交付要綱、実施要綱・要領等
乳用優良雌牛貸付事業	乳用優良雌牛貸付事業資金貸付要綱、同実施要領
酪農経営担い手育成対策事業	次代を担う酪農経営基盤強化対策事業費補助金交付要綱、同実施要領

(事業名) 酪農経営構造改革推進事業

(継続 実施期間：平成23年～27年)

本年度予算額 (前年度予算額)	左の財源内訳			事業主管課・室 (担当)	地方機関
	国庫	一般	その他		
千円 249,910 (472,581)	千円	千円	千円	畜産技術室 (酪農・飼料班)	
		33,739	216,171		

事業の趣旨

酪農経営の安定と所得確保のためには、経営内における生産性向上が喫緊の課題である。

このため、牛群の快適性を追求するとともに、牛群の改良並びに計画的な更新、育成牛の自家保留率の向上を図る等構造改革を推進し、安定した酪農経営体を育成する。

事業の内容

事業区分	予算額	事業の内容	予定地区等
1 酪農経営基盤強化対策事業 (1) 緊急乳量確保対策事業 (ア) 初妊牛貸付事業	千円 216,171	H23年度に行った初妊牛900頭の緊急導入に対し、県酪へ県資金を再貸付するもの。	県内全域
(2) 保留促進対策事業	14,000	雌性判別精液の導入を促進する。	県内全域
2 生産性向上強化施設整備事業	19,348	生産性の高い酪農経営体の育成をするため、省力化及び暑熱対策のための施設・機械やカウコンフォート及び育成牛用牛舎等の整備を支援する。また、震災時のリスク軽減を図るため、発電装置の整備を支援する。	県内全域
県推進費	391		

補助等の条件

事業区分	事業主体	採択基準(又は条件)	補助率
1 酪農経営基盤強化対策事業 (1) 緊急乳量確保対策事業 (ア) 初妊牛貸付事業	大分県酪	県酪の組合員であり、増頭意欲を有し、3年後の自家保留率が90%以上の計画を有する者。 3年後の自家保留率が90%以上の計画を有する者。	県 4/5以内
(2) 保留促進対策事業	大分県酪		県 1/2以内
2 生産性向上強化施設整備事業	市町村及び大分県酪	牛群検定に取り組んでいる又は取り組むことが確実と見込まれる認定農業者	県 1/3以内 1/2以内

県の補助金等交付要綱、実施要綱・要領等

事業区分	補助金交付要綱、実施要綱・要領等
1 酪農経営基盤強化対策事業 (1) 緊急乳量確保対策事業 (ア) 初妊牛貸付事業 (2) 保留促進対策事業 2 生産性向上強化施設整備事業	初妊牛貸付事業資金貸付要綱、同実施要領 酪農経営構造改革推進事業費補助金交付要綱、同実施要領 酪農経営構造改革推進事業費補助金交付要綱、同実施要領

(事業名) 養豚経営体質強化対策事業

(継続 実施期間：平成23年～25年)

本年度予算額 (前年度予算額)	左の財源内訳			事業主管課・室 (担当)	地方機関
	国庫	一般	その他		
千円 10,146 (11,146)	千円	千円 10,146	千円	畜産技術室 (食肉鶏卵班)	振興局 (生産流通部)

事業の趣旨

将来にわたり持続的に経営できる養豚農家を育成するため、防疫体制を強化し効率的な養豚事業を行う養豚農家の取組に対して支援する。

事業の内容

事業区分	予算額	事業の内容	予定地区等
養豚経営体質強化施設整備事業	千円 9,500	将来の養豚産業を担う経営体の育成と持続的な事業展開を目的として、規模拡大や生産性の向上、防疫体制の強化に資する施設整備に対し助成する。	県内全域
養豚経営体質強化推進事業	562	持続的に経営できる養豚経営体を育成するため、生産者間で課題を共有し、課題解決に向けた取組を推進する。	県内全域
県推進費	84		

補助等の条件

事業区分	事業主体	採択基準(又は条件)	補助率
養豚経営体質強化施設整備事業	市町村 農協 農業者等	繁殖母豚を50頭以上飼養し、100頭以上の飼養計画を有するもの等が、規模拡大、生産性向上のための豚舎整備及び防疫体制強化のための施設整備に要する経費に対して助成	県 1/3以内
養豚経営体質強化推進事業	大分県養豚協会	後継者と若年経営主の交流会、中堅養豚経営者との意見交換会、凍結精液技術等の技術研修会の開催や情報発信等を委託	

県の補助金等交付要綱、実施要綱・要領等

事業区分	補助金等交付要綱、実施要綱・要領等
養豚経営体質強化施設整備事業	大分県畜産生産振興対策事業費補助金交付要綱、同実施要領

(事業名) 草地畜産基盤整備事業

(継続 実施期間：平成24年～27年)

本年度予算額 (前年度予算額)	左の財源内訳			事業主管課・室 (担当)	地方機関
	国庫	一般	その他		
千円 83,846 (74,977)	千円 63,435	千円 20,411	千円	畜産技術室 (酪農・飼料班)	—

事業の趣旨

高齢化等による畜産農家の減少やTPP等社会情勢の変化への対応が求められている中、経営の安定した担い手の育成による畜産産地の強化や安全安心な畜産物を供給するため、畜舎等の飼育施設や飼料生産基盤を整備し、「安全」「安心」な自給飼料の活用の促進と規模拡大等による担い手の経営改善の支援を行う。

事業の内容

事業区分	予算額	事業の内容	予定地区等
草地畜産基盤整備事業	千円 81,943	基本施設整備 草地造成・整備改良、施設用地造成整備 用排水施設整備 利用施設整備 隔障物整備、家畜保護施設整備 飼肥料庫整備、家畜排せつ物処理施設整備 牧場用機械施設整備	竹田市 九重町 玖珠町
県推進費	1,903		

補助等の条件

事業区分	事業主体	採択基準 (又は条件)	補助率
草地畜産基盤整備事業	大分県農業 農村振興公 社	(1) 事業実施地区における事業完了後の受益草地等の面積が100ha以上であること (2) 事業参加者が5人以上であること (3) 家畜飼養頭羽数が1,000頭以上であって、事業完了後において1,500頭以上に増頭することが確実に見込まれること (4) 事業完了後、地区において担い手に係る畜産物生産がおおむね2分の1以上であること	国 50% 県 基本施設 20% 利用施設 10%

県の補助交付要綱、実施要綱・要領等

事業区分	補助金交付要綱、実施要綱・要領等
草地畜産基盤整備事業	草地畜産基盤整備事業費補助金交付要綱

国の補助交付要綱、実施要綱・要領等

事業区分	補助金交付要綱、実施要綱・要領等
草地畜産基盤整備事業	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業実施要綱、同実施要領 土地改良事業関係補助金交付要綱

(事業名) 県産粗飼料流通拡大事業

(継続 実施期間：平成23年～26年)

本年度予算額 (前年度予算額)	左の財源内訳			事業主管課・室 (担当)	地方機関
	国庫	一般	その他		
千円 11,415 (8,094)	千円	千円 11,415	千円	畜産技術室 (酪農・飼料班)	振興局 (生産流通部) 農林水産研究指導 センター (畜産研究部)

事業の趣旨

安全・安心な県産畜産物の生産と飼料価格の変動に左右されやすい農家経営の安定を図るため、輸入粗飼料から県産粗飼料への転換を推進する。

事業の内容

事業区分	予算額	事業の内容	予定地区等
コントラクターの育成	千円 6,666	粗飼料の品質・利便性を向上し、県内流通を推進するため、コントラクターの機械整備を支援	県内全域
焼酎粕濃縮液混合飼料の開発・普及	3,322	県内酒造メーカーの焼酎粕濃縮液と稲発酵粗飼料を主原料とした子牛育成用飼料を開発し、コントラクターと連携して普及拡大を図る	
県産飼料利用畜産物のPR	137	県産飼料用米を給与した牛肉の高付加価値化の取り組みを支援	
県推進費	1,290		

補助等の条件

事業区分	事業主体	採択基準(又は条件)	補助率
コントラクターの育成	コントラクター組織等	本事業で導入した機械により、稲わらについてはおむね20ha以上の収集、稲発酵粗飼料についてはおむね20ha以上取り組む計画を有すること。	10/10(ただし事業費1/3を限度とする)

県の補助交付要綱、実施要綱・要領等

事業区分	補助金交付要綱、実施要綱・要領等
県産粗飼料流通拡大事業	県産粗飼料流通拡大事業費補助金交付要綱・同実施要領

